
「無症候性髄膜腫の臨床における課題について」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのデータを用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2000年4月1日から2024年3月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、前床突起・蝶形骨縁髄膜腫と診断され、手術を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

髄膜腫は人口の1～2%に偶発的に発見されるもっとも頻度の高い脳腫瘍であり、小型に腫瘍が無症候の状態で見つかることも非常に多いとされています。そのなかで増大速度の速い腫瘍の抽出や、早期手術が望ましい症例の検出など、いまだ臨床上的課題も多く残されています。

本研究では同疾患の自施設における経過観察あるいは手術・放射線治療の成績を後方視的に検討し、上述の課題に関する最適な治療方針を明らかにすることを目的とします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年5月10日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

用いる情報は、病歴・画像（MRIやCT、血管撮影など）、手術記録、病理診断などです。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である花北俊哉が管理いたします。患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

髄膜腫と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた画像データおよび診療記録等を用

います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

| | | | |
|-------------|----|------|-------|
| 研究責任者：脳神経外科 | 医師 | 准教授 | 花北 俊哉 |
| 研究実施者：脳神経外科 | 医師 | 客員教授 | 大宅 宗一 |

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学総合医療センター】 病院長 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 研究責任者 花北俊哉

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

tel/fax: 049-228-3671

受付時間 平日 10時から15時

○研究課題名：無症候性髄膜腫の臨床における課題について

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 花北俊哉